

# Meet the Musicians

楽団員紹介

何事もトライする、まっすぐなヴァイオリスト

## 西村 真紀

Maki Nishimura

[首席ヴァイオラ奏者]2001年4月入団

趣味:野球や水泳など、スポーツ観戦



©N.Ikegami

### ダメ、と言われても……

小学4年生から桐朋学園の子供のための音楽教室に通い、ヴァイオリンを続けていました。周囲は上手な友人が多く「部活は入らずに楽器の練習時間に充てる」「修学旅行は何日も練習出来なくなるので行かない」のが当たり前の環境だったのですが、私はどうしても陸上部に入りたくて。ヴァイオリンの先生に黙って陸上部に入部。修学旅行も絶対に行きたかったので、修学旅行の実行委員長に立候補。そんな生活だったので、ヴァイオリンが上手くなるはずもなく(ずっと走りこんでいたので体力はつきました)、中学3年生の時にととう先生にその秘密がばれて、「そういう向き合い方であれば面倒をみきれません」と“破門”になったのです。

そこから1カ月間、一旦音楽から離れて進路について考えたのですが、弦楽合奏の楽しさが忘れられず、先生にこれまでの隠し事を謝罪して、もう一度ヴァイオリンと向き合うことになりました。

### ヴァイオラへの転向

その後、音楽高校、音楽大学でヴァイオリンを続けていましたが、ヴァイオラ科の友人や先生からは「真紀ちゃんはこっち側の人間だよ」「ヴァイオラの匂いがするよ」と言われるように。確かに小学生の頃から、持ち回りで弾いていたヴァイオラがとても楽しかったですし、「一回きちんとヴァイオラを習ってみたい」と思ったので、ヴァイオラの講習会を受けに行ったのです。当時の師匠・藤原浜雄先生に無断だったので、かなり怒られました(笑)。ですが「ヴィ

オラを勉強するならば、まずはしっかりヴァイオリン専攻を卒業した方が良い」という助言をいただき、大学4年間はヴァイオリンを、その後ヴァイオラに転科しました。その2年後、東響ヴァイオラ首席オーディションを受けたいと公言した際には、周囲から「あまりにも早すぎる」と言われましたが、オーケストラへの憧れが人一倍強かったことや、「頑張らなければならない環境に身をおいた方が勉強できるだろうからいいんじゃない?」という師匠の言葉に背中を押され、何とか今に至ります(笑)。

東響メンバーは、音楽に対しては厳しく、そして情が厚い。当時は至らない点が多かったので、とても怒られましたが、すごく一生懸命教えてくださって、ここで沢山勉強をさせていただきました。入団時に師匠から「3倍勉強して、3倍練習して、3倍弾きなさい」と言われていたこともあり、とにかくスタートラインに立たねばと必死でした。入団から20年が経ちましたが「まだまだオーケストラは難しいな」と日々思っています。



小さい頃からアンサンブルが好きで、ソロの曲ではなく弦楽合奏の曲ばかり練習していました。

インタビュー:事務局